

7.28(土)

お話 村瀬 和子

能 杜 若 恋之舞

上田 拓司

狂言 入 間 川 野村 萬

8.18(土)

お話 山折 哲雄

能 盛 久 恐之舞  
野村 四郎

# 東国 行脚

平成30年度  
大槻能楽堂自主公演能  
能の魅力を探るシリーズ



9.22(土)

お話 天野 文雄

能 善知鳥 齊藤 信隆



善知鳥

盛久

杜若

初めてご覧になる方にもわかりやすい解説文(英文解説)もご用意しています

無形文化遺産  
NOH KYOGEN  
能楽

## 大槻能楽堂

〒540-0005 大阪市中央区上町A-7

TEL.06-6761-8055 <http://www.noh-kyogen.com>

◎主催:公益財団法人大槻能楽堂

◎後援:大阪府/大阪市/大阪府教育委員会/大阪市教育委員会/公益財団法人関西・大阪21世紀協会



文化庁  
Agency for Cultural Affairs,  
Government of Japan

関西から

文化力

POWER OF CULTURE



# 東国行脚

第652回 7月28日(土) 14:00開演 13:00開場

お話 からころも—— 禁じられた恋 村瀬 和子

休憩10分

狂言 人間川 いるまがわ

大名 野村 萬  
太郎冠者 野村万之丞  
人間の何某 小笠原 匡

後見 小笠原弘見

長らく在京していた大名が東国へ帰る途中、大きな川に行き当たる。通りかかった男に、川の名と渡り瀬(徒歩で渡れる浅瀬)を問うと、男は、この川は人間川で、渡り瀬はもっと上流にあると教える。すると、大名は、従者の太郎冠者が止めるのも聞かず、川に入ってしまった。

野村萬(日本芸術院会員・人間国宝)のシテに、子息・万蔵(九世)の長男・万之丞(六世)、関西を拠点に活躍する小笠原匡で、絶妙なセリフのやりとりを楽しみたい。

休憩20分

能 杜若 恋之舞 かきつばた こいのまい

シテ 杜若ノ精 上田 拓司  
ワキ 旅僧 福王 知登

笛 野口 亮  
小鼓 荒木 建作  
大鼓 谷口 正壽  
太鼓 前川 光範

後見 大槻 文藏  
上野 雄三

地謡 多久島 利之  
齊藤 信隆  
赤松 禎友  
山本 博通  
山本 正人  
武富 康之  
大槻 裕一  
水田 雄悟

三河国八橋の沢一面に今を盛りと咲く杜若。ここは、在原業平が「かきつばた」の歌を詠んだという『伊勢物語』ゆかりの名所であった。東国を廻って修行する僧が、思わず足を止めて、その美しさに見入っていると、どこからともなく女が現れて声をかけてきた。艶やかに舞う女の姿は、業平かと思えば二条后に、歌舞の菩薩かと思えば杜若の精に重なる。初夏のまぶしい光の中、美しい人の面影を宿すという杜若の花が、白日の夢の世界へと誘う。

関西の実力者であり、杜若の精に似つかわしい風姿の上田拓司、九州の実力者・多久島利之の地頭の組み合わせ。

交通 ○地下鉄谷町線・中央線「谷町四丁目」下車、⑩号出口を出て南へ約300m。(⑪号出口にエレベーター有り)  
又は谷町線・長堀鶴見緑地線「谷町六丁目」下車、⑦号出口を出て北へ約350m。(⑦号出口にエレベーター有り)  
○市バス「国立病院大阪医療センター」下車南へすぐ。  
※大阪駅から62号系統「住吉車庫前」行乗車。 ※「あべの橋」(天王寺)から62号系統「大阪駅前」行乗車。

第654回 8月18日(土) 14:00開演 13:00開場

お話 刀尋段々壊 山折 哲雄

休憩20分

能 盛久 恐之舞 もりひさ かしこみのまい

シテ 盛久 野村 四郎  
ワキ 土屋三郎 福王 茂十郎  
ワキツレ 従者 福王 知登  
ワキツレ 輿昇 喜多 雅人  
ワキツレ 輿昇 是川 正彦  
間狂言 下僕 善竹 忠重

笛 藤田六郎兵衛  
小鼓 曾和 鼓堂  
大鼓 白坂 保行

後見 大槻 文藏  
上野 雄三

地謡 浅井 文義  
赤松 禎友  
上田 拓司  
浦田 保親  
寺澤 幸祐  
武富 康之  
齊藤 信輔  
大槻 裕一

源氏方に囚われた平盛久は、土屋三郎によって鎌倉へ護送されることになり、最期の望みとして、日ごろ篤く信心する清水の観音へ参詣し、花盛りの都をあとにする。やがて、鎌倉で幽閉されていた盛久に、処刑は明日との通告が下った。もとより覚悟の盛久は、声高らかに『観音経』を誦読し、しばしばどろむ間に不思議な夢を見る。そして、斬首の座についた盛久の身に、奇蹟は起こる。

盛久の役は能面をかけず、物語は現在進行形で劇的に展開。シテの野村四郎(人間国宝)と地頭の浅井文義が共に所属する鏡仙会ならではの魅力が堪能できるだろう。

入場料金のご案内 ※入場券は各公演の2ヶ月前の同日付から発売

自由席 ●前売：一般 5,400円・学生 2,700円  
座席指定可 ●当日：一般 5,900円・学生 3,100円

ワンコインでマイシート 500円  
前売に追加料金で自由席を座席指定にアップグレード

U-25 25歳以下(U-25) 当日立ち見券 800円  
※自由席券・当日券でご入場の場合は、立ち見でのご案内となる場合がございます。ご了承ください。※やむを得ぬ事情により、曲目・出演者・日程等の変更が生じる場合がございます。あらかじめご了承ください。

入場券発売所

大槻能楽堂事務局・大槻能楽堂ホームページ

ローソンチケット Lコード：53874

TEL 0570-084-005 URL l-tike.com

チケットぴあ ぴあコード：561-119

TEL 0570-02-9999 URL t.pia.jp

第655回 9月22日(土) 14:00開演 13:00開場

お話 能に描かれた中世の罪業観 天野 文雄

休憩20分

能 善知鳥 うとう

前シテ 尉 齊藤 信隆  
後シテ 獵師 齊藤 信輔  
ツレ 獵師ノ妻 齊藤 凜  
子方 千代童 福王 和幸  
ワキ 旅僧 善竹 隆平  
間狂言 所ノ者

笛 大野 誠  
小鼓 清水 皓祐  
大鼓 河村真之介

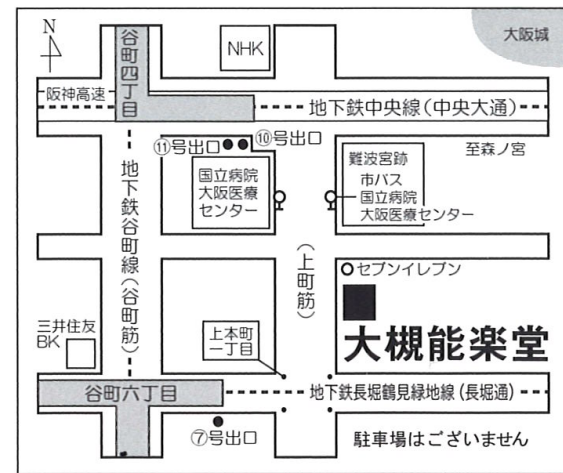
後見 大槻 文藏  
赤松 禎友

地謡 上田 拓司  
上野 雄三  
杉浦 豊彦  
山本 正人  
寺澤 幸祐  
武富 康之  
大槻 裕一  
水田 雄悟

旅の僧が、陸奥国「外の浜」へ行く途中、霊峰・立山に立ち寄り、地獄のありさまを目のあたりにする。そこへ、生前は獵師だったという亡者が現れて、外の浜に住む妻子への願いを僧に託す。獵師は、善知鳥(うとう)の子鳥を親鳥の鳴き真似でおびき寄せるとい残酷な手段で捕り続けた。それは最果ての地で生きるためだったが、いつしか、捕るという行為そのものに夢中になっていった。死後、地獄に墮ちた獵師を凄まじい苦しみで襲う。

齊藤信隆が親子三代の共演で罪業から逃れられぬ男の宿命をいかに演ずるか。上田拓司の地頭にも期待したい。

文・石淵文恵



※本公演における写真撮影・テープ録音・携帯電話等にての撮影・録音は、著作権・肖像権に触れますのでご遠慮いただきますようお願いいたします。

Unauthorized recording or photography of the performances is prohibited and a violation of copyright. (Thank you for understanding and we hope you will have a good time.)